

井上洋士さん



エイズをめぐる混沌の時代、医療と生活の情報を提供するNGO「SHIP」を立ち上げ、その後もHIV陽性の人たちを対象とする調査研究を率いてきた井上洋士さん（順天堂大学）に突撃インタビュー！

怒りと悔しさをバネに 陽性者研究の道を切り拓く

✚ エイズ対策のキーパーソンたち



発行：MASH大阪
〒530-0027 大阪市北区堂山町11-2 堂山山よしビル4F
☎& 06-6361-9300
https://www.dista.osaka

この資料は大阪市のMSM向け
HIV予防啓発広報紙作成事業で制作されました。

夏号の紙面VIEW

- 2面 時事ネタ WATCH
- 4面 知られざる偉人伝
- 6面 男朋友
- 7面 海外男街通信「コロンビア」

MASH大阪(以下M)：井上洋士さんといえば、Futures Japanという研究プロジェクトを立ち上げ、HIV陽性者の状況をさまざまな角度から浮き彫りにした研究を主導している方として知られていますが、そもそもHIVに取り組みきっかけは？

井上…九十年代の初め、大切な友人がHIVに感染しました。当時からHIV予防の方法はとも大きく扱われ情報もそこそこありましたが、感染して陽性になると情報のない別世界に放り込まれてしまう。その状況をなんとかしようと思ったのがきっかけですね。実際、彼は日和見感染症のひとつ、サイトメガロウィ

ルスの網膜炎を発症したんです。ところがいくつかの病院が「受け入れ体制が整っていない」と診療を拒否した。結局その友人は失明してしまうのですが、患者にとって「情報がない」というのは、働きかける力、怒る力すら奪われてしまうことに改めて気づかされました。

M…情報を発信するために何をなさった？

井上…サンフランシスコとニューヨークのエイズNGOを訪ね、協力をお願いしました。どのNGOも「ここに資料があるから、好きにコピーしていいよ」と。あと、カリフォルニア大学サンフランシスコ校(UCSF)の図書館にも通いました。そこでも「好きにコピーしていいよ(笑)」。そうやって大量の情報を持ち帰り、仲間二人と情報を整理し、SHIP(Stay Healthy Information Project)のニュースレターというかたちで発信しはじめたわけです。情報を整理するにあたっては、米NGOのニュースレターが参考になりました。あと、発信する内容については、国内のある病院の医師に監修を引き受けていただきました。とても感謝しています。

M…ニュースレター発行にかかる費用は？

井上…賛助金を募り、またトヨタ財団からの助成金をもらい、自分たちで編集とデザイ

ンをやりに、安い印刷所を探して、九十七年くらいまで年三〜四回、発行しました。その頃になるとインターネットが普及し、患者も医療者も活発に情報発信される流れができてきたので、SHIPの役割は果たせたかなと思いい、活動を休止しました。ただ、悔しい気持ちもありました。自分らは医療関係者ではないので、こうした情報を医療機関にいる患者らには届けにくかったのです。その悔しさをバネに、一念発起して母校の医学部健康科学・看護学科に学士入学したんです。そして看護師の免許を取り、HIV治療の国の拠点となる国立国際医療センター(当時)のエイズ治療・研究開発センター(ACC)で働きはじめました。

M…薬害HIV被害者の生活実態調査という、大規模な研究に取り組まれたのもその頃井上…そうですね。九十六年、薬害裁判が和解というかたちになり、「患者の側が情報不足で主体的判断ができなかったために薬害HIVは発生した」と、我々のSHIPの活動に関心を寄せてくれた原告団から新たな調査の依頼を受けました。薬害被害者の方々の生活実態を調査するという大きなプロジェクトです。調査プロジェクトの長期的あり方を検討する準備に一年、患者の方々の調査に二年、遺族の方々の調査に三年、そして

編集部コメント

「大学時代の話だけでも2時間は語れますよ!」とハニカミながら話す姿はまるでヤンチャな少年のようでした。怒りに突き動かされて活動を始め約30年、意義のある歳の重なる方をされてきたとてもステキな方でした。

M…貴重なお話、ありがとうございました。

井上…二〇一〇年の日本エイズ学会でメルボルンのラ・トロップ大学の研究者が陽性者対象の研究発表をされて、これに感銘を受けたのです。千人規模の大きな調査で、陽性の人たちの本音が見える研究でした。翌年同大学を訪問し、極めて魅力的な調査研究であることがわかりました。「日本でやってみよう」と思い、資金獲得ができたので、今まで継続して取り組んでいたところですよ。やってみて、特に研究者と行政との連携という点では「日本にはまだまだ壁があるな」と痛感しています。

再度患者と家族を対象とした調査に三年、全部で九年かかりました。その間に、東大の大学院で健康社会学を専攻し、そこで学んだことはFutures Japanにも活かすことができました。生活実態調査の結果は分厚い単行本にまとめてありますので、関心のある方はぜひ読んでみてください。

M…現在取り組んでおられるFutures Japanの調査はどのようなきっかけで？

井上…二〇一〇年の日本エイズ学会でメルボルンのラ・トロップ大学の研究者が陽性者対象の研究発表をされて、これに感銘を受けたのです。千人規模の大きな調査で、陽性の人たちの本音が見える研究でした。翌年同大学を訪問し、極めて魅力的な調査研究であることがわかりました。「日本でやってみよう」と思い、資金獲得ができたので、今まで継続して取り組んでいたところですよ。やってみて、特に研究者と行政との連携という点では「日本にはまだまだ壁があるな」と痛感しています。

大阪全域 無料匿名検査場保健所 最寄り駅マップ

大阪府版(2020年6月12日現在)



エイズ、性感染症について、気軽にご相談ください!

HIV陽性とわかった時、またエイズや性感染症について相談したり、情報が欲しい時、大阪には相談できるサービスや支援があります。気軽にお問い合わせください。

HIV検査や性感染症などに不安がある方

コミュニティセンター ディスタ
community center
dista

性感染症について知りたい、相談や心配事がある、そんな方はご相談ください。お話を聞き、一緒に考えるお手伝いをします。電話相談と対面相談を行っています。相談員にはゲイの人もいて安心です。

MAP

住所: 大阪市北区堂山町11-2 堂山山よしビル4F
☎06-6361-9300
水曜～日曜/17:00～22:00 (月・火曜 休館)
https://www.dista.osaka/

HIV陽性とわかって間もない方

ひよっこクラブ

HIV陽性とわかって間もない人のためのグループミーティング

http://www.hiyokclub.com/

HIV陽性のゲイ・バイセクシュアル男性

Cafe・Bar an opportunity

～ただのきっかけ～

詳細はこちら <http://www60.atwiki.jp/anopportunity/>

エイズに関する様々な相談をしたい方

エイズ予防財団

エイズに関するご相談を電話で受け付けています。お気軽にご連絡ください。

☎0120-177-812 (無料)

※携帯電話からは、03-5259-1815まで(有料)
月曜～金曜/10:00～13:00、14:00～17:00(祝日は除く)

[南界堂通信第31号 編集後記]

●外出自粛要請に伴い自宅にいる時間が多い分、これを機に断捨離にチャレンジしました。気持的にもスッキリしましたが溜め込んでしまう性格なのでこの状態をキープできるよう心がけないとと思います。(伴伸)

●本紙が発行される頃には開催されましたが、6月7日に青森レインボーパレードがWEB開催されます。昨年に続き今年も一緒に歩きます。青森の街を思い浮かべて。琵琶湖のほとりを。より良く生きるために。(泰平)

●仕事の会議が軒並みネット会議に移る中、skype、ZOOM、teams…等々比べつつ使っています。そして、多くの人の雇用や経営、生活に甚大な影響が及びつつあることに暗然となります…(大畑)

●前号で、病原体が発見されてから有効な薬が開発されるまでの年月はハンセン病68年、結核61年、エイズ5年と書きました。新型コロナウイルス感染に効く薬は、さて、どのくらいで登場するのか? (哲)

※井上さんが持ち上げた「SHIP」は既に解散しています。横浜にあるコミュニティスペース「SHIP」と混同されませんように…



中国武漢で始まった新型コロナウイルス感染症。「不要不急の外出自粛要請」や「兵庫・大阪間の往来自粛要請」を国や行政が呼びかけ、「非常事態宣言」も発令されてしまいました。四月末に予定されていた「東京レインボープライド」、五月に予定されていたHIV検査会を兼ねた大型イベント「NLGR+2020」の開催中止が決定。そしてオリンピックも開催延期となり、ゲイイベントから世界的な祭典までが中止や延期を余儀なくされる状況になってしまいました。そんな状況の中、ゲイバーやハッテン場を取り巻く状況は休業や感染予防の対策をしながらの開店など、たくさんの苦渋の決断をされてきたと思います。また、イベント関係の人からも同様に中止や延期といった対応を伺い、とても大変だったと思います。

『来てね!』ということも『来るな!』ということも出来ないとても複雑な心境でした。当初私も軽い気持ちでいました。買い占めをする高齢層、『自分は大丈夫』と危機感のない若者、対処しきれない

政治家。キレイごとかもしれないけど、コロナウイルスを早く収束するには「他人への思いやり」がこの国には一番必要なかもしれないね。『うつらない努力』よりも『うつさない努力』を」とSNSで心情を吐露しているのは堂山でダイニングバーを営む「京都」のマコトさん(南界堂通信六号「男朋友」参照)。営業時間の短縮、席数を減らす、入口のドアを開放しての定期的な換気、テーブルやいす、ドアノブなどのアルコール消毒を心掛け、スタッフには休んでもらったりしながら営業は続けていましたが、非常事態宣言を受けて4月8日から臨時休業に入りました。

「もちろんお客さんは来なくなり収益がなくなっても、家賃、おしぼり代、電気、水道、ガス、地域の組合費その他もろもろの費用だけは毎月かかります。毎月大金を泥棒に入られるような感じですねえ、恐ろしいです。あちらこちらでバーを名指しにしますけど、その他のお店や交通機関の方が混み合ってますし、逆にリスクは低いと思います。いまは利益ではなく赤字を減らす

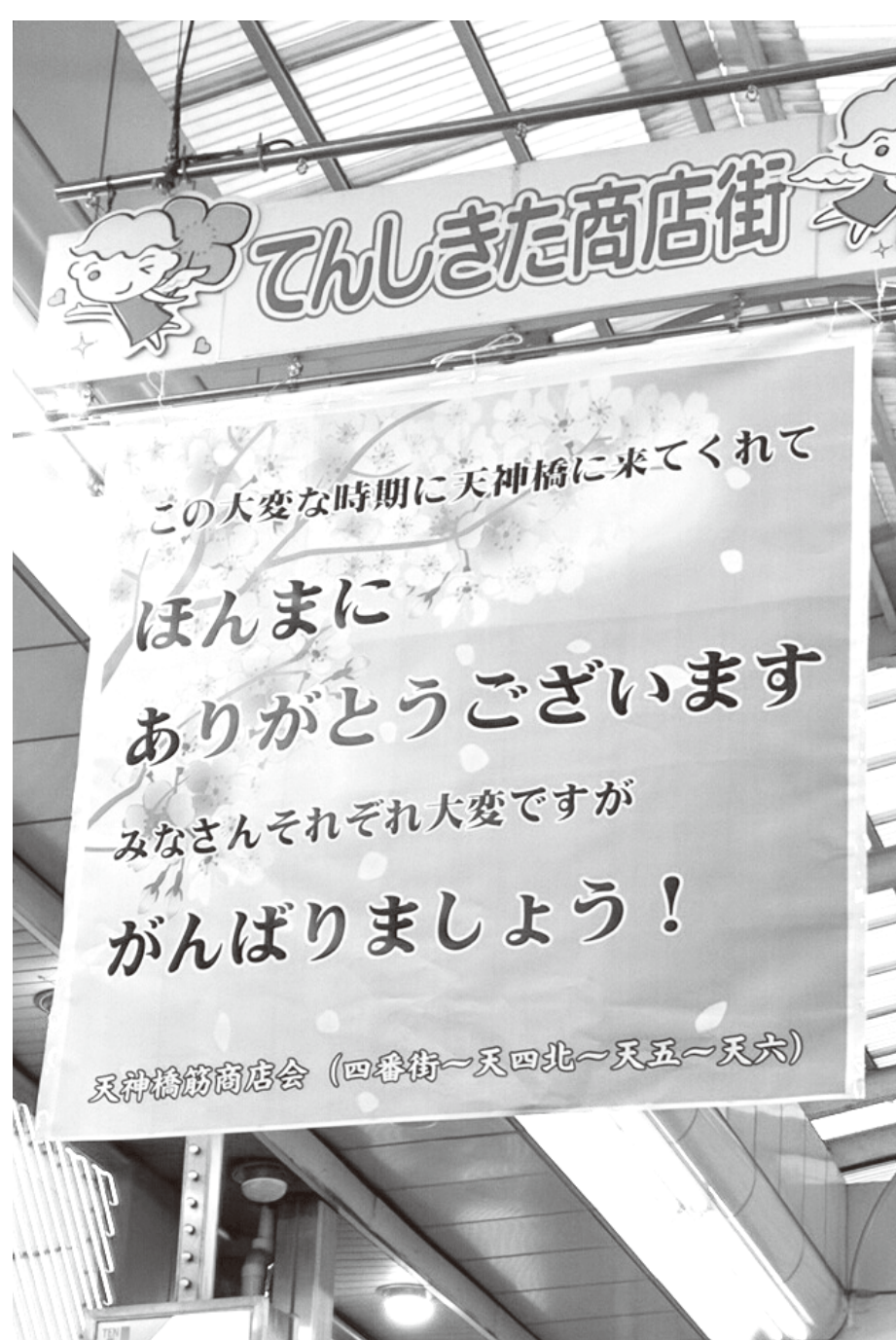
努力が必要です。自粛しつつも短時間でも開けざるを得ないですし、これが続くと食べに行けるはずないですね。もともとこの辺りのお店は低価格設定が多く、利益をガンガン出すスタイルではないので細々続けるしかないかと思っています」と、ミナミにあるバーのマスターは苦悩されています。渦中多忙の中、お話を聞かせていただいた店舗様、本当にありがとうございました。四月十一日の時点で、ゲイコミュニティのお店は、ハッテン場も含めて約半数が休業、半数はいろいろな対応をしながら、さまざまな思いを抱えながら営業を続けています。ついこの間までは、他国での出来事、クルーズ船の中だけの出来事とらえていたことが目の前に迫り、静けさの似合わない街に静かな夜が訪れています。

新型コロナウイルスはもちろんSEXでも感染します。キスだけでも感染すると言われています。もちろん乱交や複数でのSEXも厳しいでしょう。密閉・密接・密集に近づかないように、夜の街に出歩かないように、不要不急の外出は控えてくれ、そう言われても、出会い系アプリを開けば「SEXSEXSEX」と叫んでいる人、SNSでは外出して飲んでいる写真を投稿するする人。やりたい気持ち

向き合う ゲイコミュニティ

「新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための休校に伴い、厚生労働省は子どもの世話で仕事を休んだ保護者向けの助成金を新設したが、風俗業などで働く人は対象外となっている。支援団体は見直しを求めたが、厚生省は応じない構えだ。」

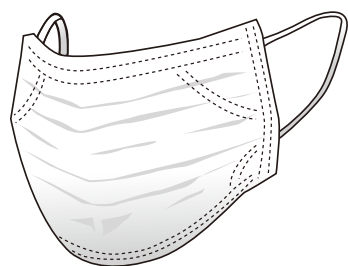
この助成では一定の要件を満たせば、雇われて働く人は勤め先が月額八三三〇円(上限)を、フリーランスは本人が一律月額四一〇〇円の助成を受けられる。だが要件では「暴力団員」や「暴力主義的破壊活動を行った団体に所属する人」



などと並び、「性風俗業」や「接待を伴う飲食業」の関係者を対象外とする。」(朝日新聞四月三日)

また、社会的排除を受けやすい、困難を抱える親たちの扶養の置きや困窮を軽減するためには、いま子育てをしながら風俗で働いている人々が求める支援を国が提供することは不可欠だとしています。

したそう(毎日新聞四月三日)、これって差別ではないのか?と想っていたら、この問題は国会でも取り上げられ、官房長官が見直しを言明。四月七日に厚生省は「風俗営業等関係事業主及びその雇用する労働者を支援の対象とする」等の見直しを行いました(厚生省HP)※



新型コロナウイルス 感染の拡大

国内でも新型コロナウイルスの感染が拡大しています(四月四日現在。既にdistanceも臨時休館)。

NHKの報道番組に(いつもMASHがお世話になっています)大阪市立総合医療センターの白野倫徳医師が出ておられて、若年層でも急に悪化するとのことで、「普通に来院していた患者さんが、数日後、人工呼吸器が必要な状態に悪化」という例を紹介し、警鐘を鳴らしていました。

とにかく手洗い、消毒を徹底、不要な外出は控え「ソーシャル・ディスタンス」も…「自分も感染源かも知れないと思って行動する」という指摘に傾聴。

そういえば、新型コロナウイルスについてテレビに出てくる医療者は、これまでHIV/エイズの診療にあたってきた医療者とも重なる感があります。

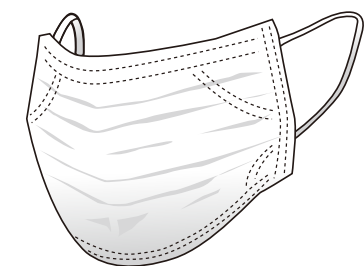
イルス感染症が(今の所)治療法のない感染症であり、大きな病院の診療科のうち、こういった治療法が確立されていないのがHIV診療だったからかも知れません(それと呼吸器系日和見感染症との共通性も)。

「感染症による社会の動揺は最も脆弱な層を撃つ」というのはHIV/エイズで言われていたことですが、今回の新型コロナウイルスでも通底する面があるかも…:と思ったのが入ってきたからです。

「新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための休校に伴い、厚生労働省は子どもの世話で仕事を休んだ保護者向けの助成金を新設したが、風俗業などで働く人は対象外となっている。支援団体は見直しを求めたが、厚生省は応じない構えだ。」

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための休校に伴い、厚生労働省は子どもの世話で仕事を休んだ保護者向けの助成金を新設したが、風俗業などで働く人は対象外となっている。支援団体は見直しを求めたが、厚生省は応じない構えだ。

新型コロナウイルスと私たち



for you
男 朋友

プリヴェンション・アクセスキャンペーン

ここ2、3年の間で日本にもかなり浸透してきた「U＝U」というメッセージをご存知ですか？ HIVに感染していても、ちゃんと治療を続けているとウィルス量が検出されなくなり、その状態であれば相手にHIVを感染させる事はないという、HIV陽性者にとってはとてもホットで明るいメッセージを持っています。この「U＝U」を広めるべく世界規模で展開しているプリヴェンション・アクセスキャンペーンの発起人・ブルース・リッチマンが来日！ d i s t aも訪問して下さったので交流会を兼ねた意見交換会を実施しました！



プリヴェンション・アクセスキャンペーンの発起人
ブルース・リッチマンさん

■きっかけ

「エイズ＝死」というイメージを三十年経った今でも抱き続けている人は少なからずいる。でも実際にはどうなのか？医療の進歩や治療薬の開発でエイズでは死なない時代がやってきている。死なないという事は未来があるという事。

それはそれで素晴らしい事だけど、HIV陽性者に、「自分が感染源となり相手を傷つけてしまうのではないか？」という不安から、セックスや恋愛を諦めていたり、億劫になっている人が多いし、実際にボクもそうだった。そんな時とても目を疑う研究結果と出会ってしまったんだ。 **投薬治療を受け**

ているHIV陽性者と陰性者を調べるという研究で、なんと感染率がとても低く低い事が分かったんだ。「HIV陽性者だからといってセックスや恋愛諦めなくてもいいんだ！」「もっと積極的になってもいいんだ！」「ボクたちにも明るい未来が描けるんだ！」。とてもハッピーな気持ちになれたし、このポジティブな研究結果は多くのHIV陽性者に明るい未来を描ききっかけになるのも思った。そこから試行錯誤を繰り返し、「U＝U」という造語を作り出したんだ。研究者たちには、研究結果やそこからわかった重要な事実がそれが必要とする人に届いていないことを伝えた。研究者は研究のプロであって、結果を周知するプロではないし、届いていないことに気付いていなかった。でも、その後なんと「U＝U」が真実であることを伝える宣言を作り上げる活動にも参加してくれたんだよ。

■キャンペーンの起ち上げと現状
研究結果のデータを持って健康局や行政に働きかけたんだけど、「エビデンスが不明瞭な研究は信用しがたい」と突っ返される事の連続。それでもボクは諦める事ができなかった。SNSを中心に地道に発信していき、今では世界規模のキャンペーンになってはいるけど、このキャンペーンそのものはたった三人で運営しているんだ。最初の三年間は自費を投じて展開していたんだけど、そんなボクに嫌気をさせたのか呆れてしまったのか、当時付き合っていたパートナーはボクの元から去って行ってしまったよ（笑）。それでもボクは何かに突き動かされるようにこのキャンペーンを続けていくしかなかった。そうこうしている内に、ニューヨーク市の保健局がボクたちのキャンペーンをバックアップしてくれる事になり、それをきっかけに行政やNGOもどんどん賛同してくれるようになったんだ。英語

圏では「U＝U」という言葉だけでなく、その国の言葉に置き換えて発信している国もあるので「K＝K」だったり「O＝O」「H＝H」だったりと言葉は様々なんだ。賛同してくれている団体の活動はSNSやインターネットを通じて拝見しているし、ボクたちが拡散することで各国の取り組みを共有する事ができる。日本でも「ぶれいす東京」と「MASH大阪」の二団体が賛同してくれています。「U＝U」を広める事を目的に、セクシーかつファビュラスなクラブイベントやSNSを最大限に活かしたアビールは本当に素晴らしいと感じました。あなた方の活動には敬意を表します。

■これからの展望

アメリカにはたくさんのエイズNGO・NPOがあるんだ。これだけ世界規模で「U＝U」が広がっているにも関わらず、「U＝U」に関して無関心だったり不信感を持っている団体

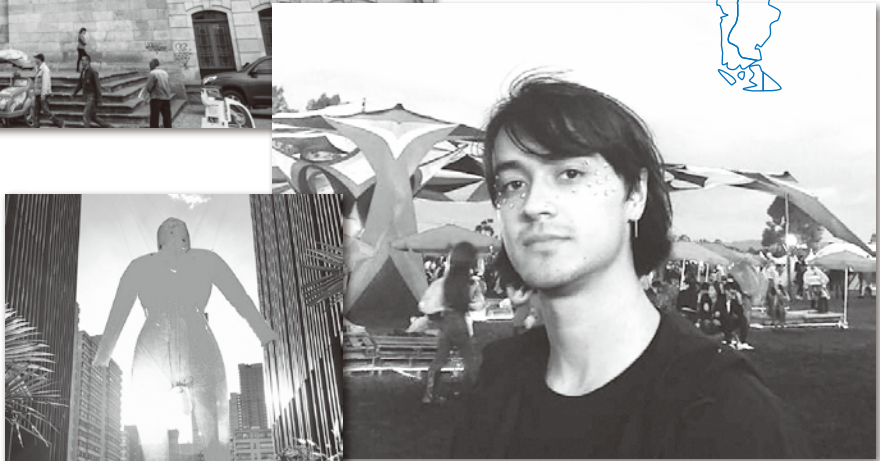
も多く、例えばサンフランシスコで一番大きなエイズNGOのHPには「U＝U」に関する記載が全くない。そういう団体に対して「「U＝U」に関する表明を出して下さい！」としつこく申し入れをしているので、「面倒くさいヤツだなー」と煙たがれているのも事実です。「U＝U」はHIV陽性者にとっても有益なメッセージであって、ボクを嫌ったところで仕方ないと思うんだけどね。これからもしつこく申し入れは続けていくつもりだよ（笑）。既に賛同してくれているあなた方とはこれからも良きパートナーとして一緒に活動していきたいと思います。

■編集部のコメント

一部の人々からは嫌われているとはいえ、彼らの活動を評価している著名な方々もたくさんいて、親しみと敬意の意味合いを込めて「Mr. U＝U」と呼ばれている、とても包容力のあるブルース・リッチマンでした。

〔 Colombia 〕 ✈ 海外男街通信

コロンビア



プライドパレードに参加した時のもの

「絵を描く事が好きです!」というサンティアゴ君。実際に見せてもらうとビックリ!お絵かき程度のレベルではなくアーティスティックなペン画でした! (左の絵) distaにも飾っているので興味のある方は是非 distaまで!



南界堂通信の読者の皆さん、コンバンワ!コロンビアの留学生サンティアゴと申します。大阪大学で日本語と日本文化を学んでいます。二十三歳で、出身は首都のボゴタです。コロンビアの大学で副専攻として日本語を学び、日本に滞在するのは二回目。以前名古屋に一年間滞在していました。コロンビアは人口四千九百万人で、スペイン語圏ではメキシコに次いで人口の多い国です。日本と違って若い人が多く、国民の平均年齢は三十一歳。国民の八割はカトリック教徒ということになっていますが、若い人のあいだでは宗教離れが進行しています。十四歳の頃、自分がゲイではないかと悩み、心を閉ざすようになりまして。心配した母からカウンセラーに行くよう勧められ、カウンセリングを受けたら、こう言われました「君には何の問題もない。ここに来なきゃいけないのは君の親のほうだよ」。私は母にカミングアウトし、母は涙を流しましたが、理解しようとしてくれました。十五歳になると化粧をしたり、フェミニンな服を着たりもしました。当時すでにボゴタでプライドパレードが開催されていて、自己表現の機会には事欠きませんでした。大学

に入ってから舞台芸術を専攻し、ゲイをテーマにした舞台作品をつくりました。まずゲイの人たちを集めて経験を語ってもらう。その記録と自分自身の経験とを混ぜ合わせて脚本を書く。演出もやりました。両親も見に来てくれました。両親はテーマが何かも知らないままに私の叔母たちを招待していたので、結果的に親戚中にカミングアウトすることになりました（笑）。私がこうした表現活動ができる背景には、性的マイノリティの解放運動がコロンビア社会で実を結んできたことがあります。運動は七十年代に始まり、八十年に同性間のセックスが合法化されています。運動は戦闘的で、圧力団体として政治に働きかけました。ラテンの文化にはこういった戦闘性があると思います。二〇〇七年には同性パートナーの権利を認める判例を憲法裁判所が出しました。その後も運動は続き、二〇一六年には憲法裁判所が同性婚を認める判例を出しました。コロンビアはアルゼンチン、ウルグアイ、ブラジルに続いて南米大陸で四番目に同性婚を認める国となりました。

今のボゴタ市長はレスビアンを公言する女性ですし、パートナーの女性は国会議員です。彼女以外にもカミングアウトしている国会議員が複数います。プライドパレードも多くの大都市で開催されていますし、ボゴタでは大きくなりすぎて北部と南部に分かれ、異なる日程でやるようになりました。三年前のパレードの折、トランスジェンダーのグループのフロートをめぐる争いがあり、以来トランス女性独自のパレードを行うようになりました。これもラテンの戦闘性のあらわれでしょうか。私は両方のパレードに参加しているんです。

人口七百五十万のボゴタにはチャピネーロ街というゲイタウンがあって、小さなバーが多いのですが、「Tea House」という巨大なクラブが飛び抜けて有名です。ラテンアメリカ最大のゲイクラブらしい。そんなコロンビアからみると、日本のLGBT運動はおとなしい印象があります。パレードはありますが、政治的な運動が活発とはいえないような……でも日本には日本の歴史や文化があるのでしょう。日本で私はLGBTコミュニティがどう生成されてきたかを研究していて、distaやそれ以外のいろんな団体に顔を出しています。研究がまとまればdistaでも発表したいと思っています。